

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)」は、2022年12月23日に第5期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目標として積極的な運用を行います。	
主要運用対象	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式を主要投資対象とします。
組入制限	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)	<ul style="list-style-type: none"><li>・株式への実質投資割合には制限を設けません。</li><li>・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</li></ul>
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"><li>・株式への投資割合には制限を設けません。</li><li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li></ul>
分配方針	年1回の毎決算時(原則として12月23日)。同日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。	



## インベスコ 世界厳選株式オープン

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

愛称：世界のベスト

追加型投信／内外／株式



## 運用報告書 (全体版)

第5期

(決算日 2022年12月23日)

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

## インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)

### ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I ワールド・インデックス(円ヘッジ指数)		株 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 分	み 金 騰 落	中 率	(ベンチマーク)			
(設定日)	円	円	%			%	%	百万円
2018年10月5日	10,000	—	—	162.83	—	—	—	1
1期(2018年12月25日)	8,270	0	△17.3	134.66	△17.3	93.8	—	0.831997
2期(2019年12月23日)	10,521	0	27.2	172.71	28.3	96.8	—	138
3期(2020年12月23日)	9,778	0	△7.1	189.15	9.5	98.9	—	214
4期(2021年12月23日)	12,052	0	23.3	231.64	22.5	92.1	7.2	514
5期(2022年12月23日)	10,849	0	△10.0	188.42	△18.7	88.5	6.4	1,046

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)を使用しています。基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。なお、日次ベース開示開始日を100として当社で独自に指数化しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。以下同じです。

(注) 設定日のMSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)は、設定日の前営業日(2018年10月4日)の指数値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		M S C I ワールド・インデックス(円ヘッジ指数)		株 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期首)	円	%			%	%
2021年12月23日	12,052	—	231.64	—	92.1	7.2
12月末	12,270	1.8	235.86	1.8	92.2	7.3
2022年1月末	11,639	△3.4	219.37	△5.3	90.0	7.8
2月末	11,296	△6.3	217.17	△6.2	92.1	7.6
3月末	11,628	△3.5	226.72	△2.1	96.0	8.2
4月末	10,933	△9.3	207.76	△10.3	93.6	8.8
5月末	11,296	△6.3	207.02	△10.6	90.7	8.4
6月末	10,577	△12.2	190.29	△17.8	94.6	8.8
7月末	11,141	△7.6	200.23	△13.6	89.9	8.1
8月末	10,688	△11.3	196.35	△15.2	93.1	8.3
9月末	9,579	△20.5	179.15	△22.7	93.9	8.1
10月末	10,019	△16.9	190.35	△17.8	93.9	7.2
11月末	10,876	△9.8	194.87	△15.9	88.0	6.5
(期末)						
2022年12月23日	10,849	△10.0	188.42	△18.7	88.5	6.4

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

## インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)

### ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I ワールド・インデックス(円換算指数)		株 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 分	み 期 騰 落 中 率	(ベンチマーク)	騰 落 中 率			
(設定日) 2018年10月5日	円 10,000	円 —	% —		% —	% —	% —	百万円 1
1期(2018年12月25日)	8,237	0	△17.6	198,451	△20.6	96.5	—	4
2期(2019年12月23日)	10,328	0	25.4	257,123	29.6	159.5	—	174
3期(2020年12月23日)	9,478	0	△8.2	273,954	6.5	99.7	—	789
4期(2021年12月23日)	12,612	0	33.1	363,665	32.7	91.4	7.2	3,531
5期(2022年12月23日)	13,145	0	4.2	344,571	△5.3	91.4	6.6	6,730

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス(円換算指数)を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社で独自に円換算しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。以下同じです。

(注) 設定日のMSCIワールド・インデックス(円換算指数)は、設定日の前営業日(2018年10月4日)の指数値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		M S C I ワールド・インデックス(円換算指数)		株 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期 首) 2021年12月23日	円 12,612	% —		% —	% 91.4	% 7.2
12月末	12,956	2.7	373,119	2.6	90.9	7.2
2022年1月末	12,248	△2.9	346,970	△4.6	90.5	7.8
2月末	11,908	△5.6	344,363	△5.3	92.1	7.6
3月末	12,920	2.4	379,001	4.2	91.5	7.9
4月末	12,578	△0.3	361,776	△0.5	90.9	8.5
5月末	12,998	3.1	360,878	△0.8	91.4	8.5
6月末	12,852	1.9	351,876	△3.2	89.7	8.3
7月末	13,335	5.7	364,769	0.3	91.4	8.3
8月末	13,072	3.6	366,728	0.8	91.2	8.1
9月末	12,143	△3.7	347,735	△4.4	90.7	7.8
10月末	13,124	4.1	379,700	4.4	91.3	7.0
11月末	13,641	8.2	369,845	1.7	91.9	6.7
(期 末) 2022年12月23日	円 13,145	% 4.2		% △5.3	% 91.4	% 6.6

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

## 投資環境

TOPIX (東証株価指数) (日本)	△4.6%	S & P 500 指数 (米国)	△18.6%
FTSE 100 指数 (英国)	+1.4%	DAX 指数 (ドイツ)	△11.5%
CAC 40 指数 (フランス)	△8.5%		
米ドル/円	132円77銭 (前期末114円23銭)	ユーロ/円	140円64銭 (同129円46銭)

※株価指数の騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当期末の数値です。

### <株式市場>

当期の世界各国 (エマージング国を除く) の株式市場は、概ね下落する展開となりました。

期初は、ロシアがウクライナに軍事侵攻したことや、ウクライナ紛争の長期化が懸念されたことが嫌気され、世界株式市場は大幅に下落しました。米国では、米連邦準備理事会 (FRB) が金融引き締め政策を前倒しで進めるとの見方が強まったこと、長期金利が上昇傾向で推移したことなどを背景に、株式市場は軟調な展開となりました。欧州株式市場は、欧州中央銀行 (ECB) の金融政策正常化の前倒し観測や、ウクライナ情勢の悪化などを受け、弱含みで推移しました。中盤にかけては、インフレ加速への警戒感やFRBが利上げを加速するとの見方が広がったことから、米国株式市場は底値を探る展開となりました。欧州では、ECBの利上げ観測が高まり、景気減速懸念が強まったことを受け、株式市場は軟調な展開となりました。その後、米国で景気悪化懸念の高まりにより長期金利が低下したこと、消費者物価指数 (CPI) の上昇率の低下が好感されたことなどをを受け、世界の株式市場は一時的に反発しました。しかしながら、欧米の中央銀行が相次いで利上げを行い、景気後退懸念が一段と強まったことが嫌気され、世界の株式市場は下落に転じました。期末にかけては、FRBが年内に利上げペースを鈍化させるとの見方が台頭したこと、米国長期金利が大幅に低下したことが好感され、世界の株式市場は底値から大きく反発しました。しかしながら、その後、各国の利上げ継続や金融引き締めにより積極的な姿勢を受け、再び景気後退懸念が高まり、世界の株式市場は期中のピークからは反落して期末を迎えました。

### <為替市場>

当期の米ドル/円レートは、上昇しました。FRBが当期前半に政策金利の利上げを開始したこと、その後も積極的な利上げを継続し、日米金利差が拡大したことなどを背景に、円安/米ドル高となりました。

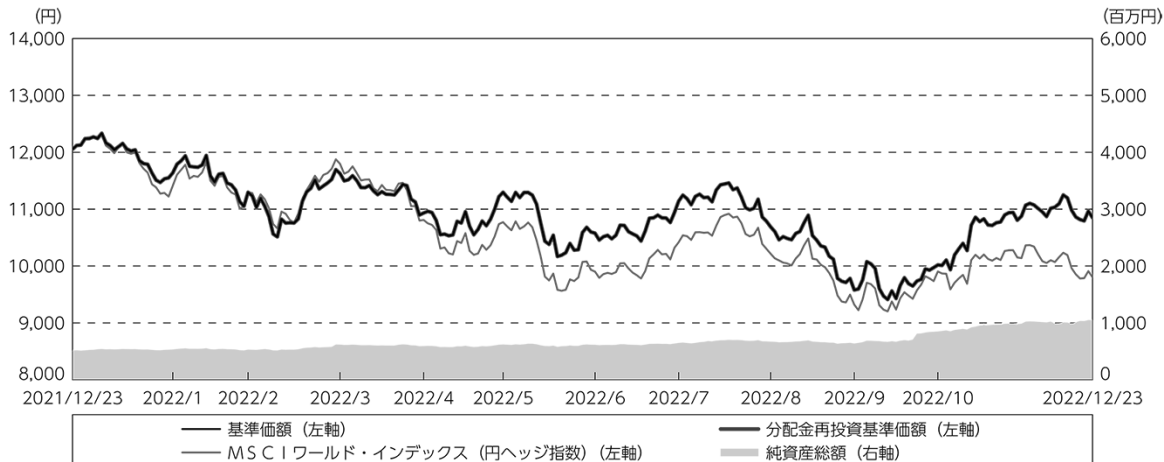
当期のユーロ/円レートは、上昇しました。ユーロはECBが当期中盤に利上げを開始し、その後も利上げを継続したこと、ユーロ圏各国の債券利回りが上昇し、日欧金利差が拡大したことなどを背景に、円安/ユーロ高となりました。

## ○運用経過

### インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)

#### 期中の基準価額等の推移

(2021年12月24日～2022年12月23日)



期首：12,052円

期末：10,849円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 10.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)は、期首(2021年12月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)は、ベンチマークです。

## ○基準価額の主な変動要因

### [上昇要因]

- ・独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行った結果、PROGRESSIVE CORPORATION (米国/保険)、STANDARD CHARTERED PLC (英国/銀行)、COCA-COLA COMPANY (米国/食品・飲料・タバコ)などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

### [下落要因]

- ・MICROSOFT CORPORATION (米国/ソフトウェア・サービス)、KKR & CO INC (米国/各種金融)、INSTALLED BUILDING PRODUCTS, INC. (米国/耐久消費財・アパレル) などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行なったため、対円で為替ヘッジを行う際に生じたヘッジコストが、基準価額の下落要因となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

主として、インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジをすることで為替変動リスクの低減を図りました。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。実質株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。セクター別では、主に「金融」「資本財・サービス」をオーバーウェイトとしました。一方、「ヘルスケア」「情報技術」をアンダーウェイトとし、「公益事業」は非保有としました。

当期中、強固な財務基盤や高い競争優位性を持つ企業の株式を中心に、新規に組み入れを行いました。米国で建設機械のレンタル事業を展開するHERC HOLDINGS (米国/資本財)、エレベーター・エスカレーターなどのエンジニアリング・サービス会社KONE-B (フィンランド/資本財)、世界3大レコード会社の一つであり、寡占的な業界で魅力的なロイヤリティ収入源を持つUNIVERSAL MUSIC GROUP BV (オランダ/メディア・娯楽) などを新規で購入しました。一方、より魅力的な投資機会への投資を行うためAMAZON.COM (米国/小売)、TJX COMPANIES (米国/小売)、DIAGEO (英国/食品・飲料・タバコ) などを全売却しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

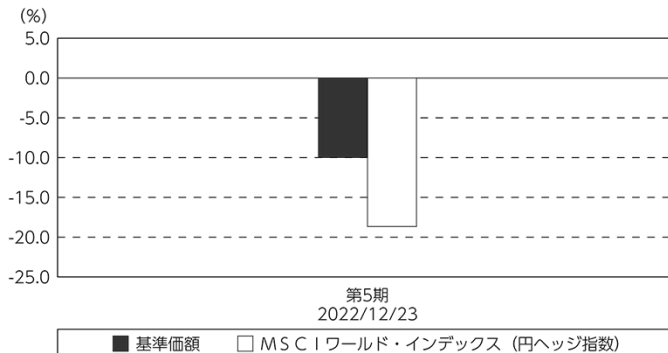
当期の基準価額騰落率は△10.0%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)の騰落率△18.7%を上回る結果となりました。

当期は、セクター別では、セクター別配分効果と銘柄選択効果共にプラスに影響しました。セクター別配分効果については、「資本財・サービス」の組入比率をベンチマークより高めとしたこと、「情報技術」の組入比率をベンチマークより低めとしたことなどがプラス要因となった一方、「ヘルスケア」や「エネルギー」の組入比率をベンチマークより低めとしたことがマイナス要因となりました。銘柄選択効果については、「金融」や「情報技術」の銘柄選択がプラス要因となった一方、「エネルギー」の銘柄選択がマイナス要因となりました。

国別では、国別配分効果と銘柄選択効果ともにプラスに影響しました。国別配分効果については、「英国」や「香港」の組入比率をベンチマークより高めとしたことがプラス要因となった一方、「スウェーデン」の組入比率をベンチマークより高めとしたことや、「オーストラリア」を非保有としたことがマイナス要因となりました。銘柄選択効果については、「米国」や「スイス」などの銘柄選択がプラス要因となった一方、「英国」や「日本」などの銘柄選択がマイナス要因となりました。

実質外貨建資産については、為替ヘッジをしていたことから、為替の効果によるベンチマークとの差異は限定的でした。

基準価額とベンチマークの対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) MSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)は、ベンチマークです。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 5 期
	2021年12月24日～ 2022年12月23日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,784

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

主としてマザーファンドへの投資を通じて日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式の中から、独自のバリュー・アプローチにより、グローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行います。実質外貨建資産への投資に当たっては、為替ヘッジをすることで為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。エマージング諸国を除く、世界に点在する企業の中から、国籍にかかわらず、ビジネス・モデルと経営陣の資質が優れていると判断した企業を発掘します。特に着目している企業の特徴は、フリー・キャッシュフロー創出力と株主還元を踏まえた、配当成長力です。また、銘柄数を厳選し、長期的視点から投資を行う方針です。今後も、株価バリュエーション判断を重視し、相対的に割安度が高いと判断した銘柄への組み替えを行っていきます。

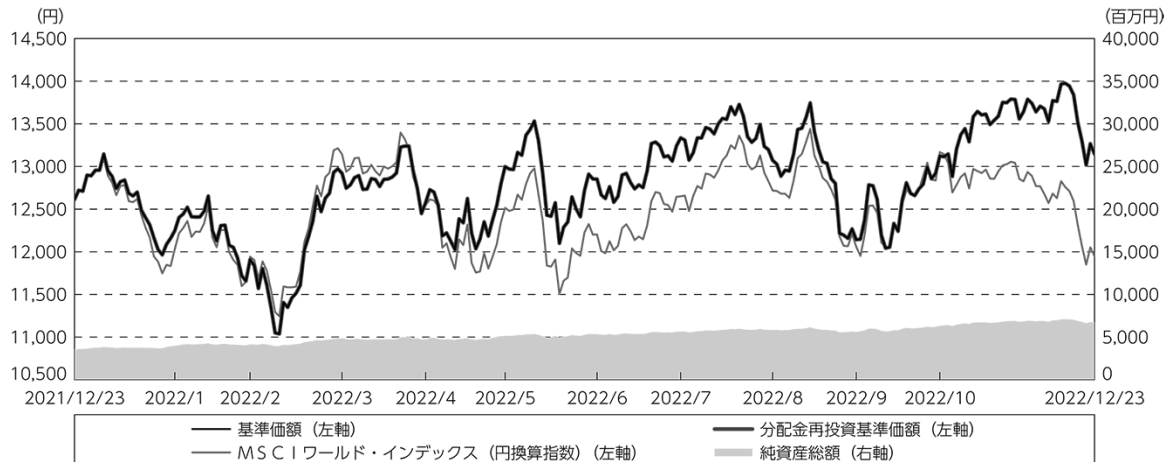


## ○運用経過

### インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)

#### 期中の基準価額等の推移

(2021年12月24日～2022年12月23日)



期首：12,612円

期末：13,145円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 4.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールド・インデックス(円換算指数)は、期首(2021年12月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCIワールド・インデックス(円換算指数)は、ベンチマークです。

## ○基準価額の主な変動要因

### [上昇要因]

- ・独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行った結果、PROGRESSIVE CORPORATION (米国/保険)、STANDARD CHARTERED PLC (英国/銀行)、COCA-COLA COMPANY (米国/食品・飲料・タバコ)などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円で為替ヘッジを行わなかったため、米ドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

## [下落要因]

- ・MICROSOFT CORPORATION (米国/ソフトウェア・サービス)、KKR & CO INC (米国/各種金融)、INSTALLED BUILDING PRODUCTS, INC. (米国/耐久消費財・アパレル) などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

主として、インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジは行いませんでした。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。実質株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。セクター別では、主に「金融」「資本財・サービス」をオーバーウェイトとしました。一方、「ヘルスケア」「情報技術」をアンダーウェイトとし、「公益事業」は非保有としました。

当期中、強固な財務基盤や高い競争優位性を持つ企業の株式を中心に、新規に組み入れを行いました。米国で建設機械のレンタル事業を展開するHERC HOLDINGS (米国/資本財)、エレベーター・エスカレーターなどのエンジニアリング・サービス会社KONE-B (フィンランド/資本財)、世界3大レコード会社の一つであり、寡占的な業界で魅力的なロイヤリティ収入源を持つUNIVERSAL MUSIC GROUP BV (オランダ/メディア・娯楽) などを新規で購入しました。一方、より魅力的な投資機会への投資を行うためAMAZON.COM (米国/小売)、TJX COMPANIES (米国/小売)、DIAGEO (英国/食品・飲料・タバコ) などを全売却しました。

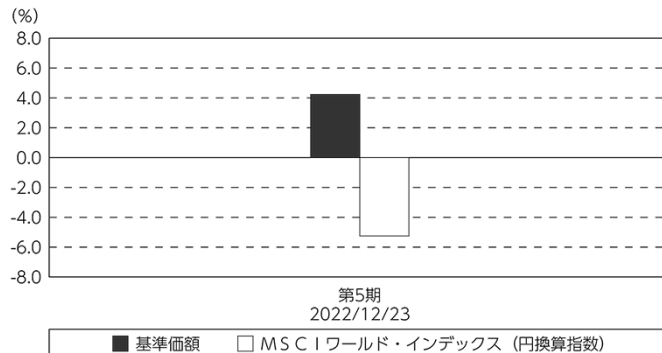
## 当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は+4.2%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス(円換算指数)の騰落率△5.3%を上回る結果となりました。

当期は、セクター別では、セクター別配分効果と銘柄選択効果共にプラスに影響しました。セクター別配分効果については、「資本財・サービス」の組入比率をベンチマークより高めとしたこと、「情報技術」の組入比率をベンチマークより低めとしたことなどがプラス要因となった一方、「ヘルスケア」や「エネルギー」の組入比率をベンチマークより低めとしたことがマイナス要因となりました。銘柄選択効果については、「金融」や「情報技術」の銘柄選択がプラス要因となった一方、「エネルギー」の銘柄選択がマイナス要因となりました。

国別では、国別配分効果と銘柄選択効果ともにプラスに影響しました。国別配分効果については、「英国」や「香港」の組入比率をベンチマークより高めとしたことがプラス要因となった一方、「スウェーデン」の組入比率をベンチマークより高めとしたことや、「オーストラリア」を非保有としたことがマイナス要因となりました。銘柄選択効果については、「米国」や「スイス」などの銘柄選択がプラス要因となった一方、「英国」や「日本」などの銘柄選択がマイナス要因となりました。

基準価額とベンチマークの対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) MSCIワールド・インデックス(円換算指数)は、ベンチマークです。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第5期
	2021年12月24日～ 2022年12月23日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,547

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

主としてマザーファンドへの投資を通じて日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式の中から、独自のバリュー・アプローチにより、グローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行います。実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。エマージング諸国を除く、世界に点在する企業の中から、国籍にかかわらず、ビジネス・モデルと経営陣の資質が優れていると判断した企業を発掘します。特に着目している企業の特徴は、フリー・キャッシュフロー創出力と株主還元を踏まえた、配当成長力です。また、銘柄数を厳選し、長期的視点から投資を行う方針です。今後も、株価バリュエーション判断を重視し、相対的に割安度が高いと判断した銘柄への組み替えを行っていきます。

**インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)**

**○ 1万口当たりの費用明細**

(2021年12月24日~2022年12月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(100)	(0.913)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	( 97)	(0.880)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 12)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.037	(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	( 4)	(0.036)	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.001)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	11	0.101	(c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 11)	(0.097)	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.003)	
(d) そ の 他 費 用	18	0.163	(d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 3)	(0.023)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 10)	(0.087)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
( そ の 他 )	( 5)	(0.045)	その他は、外国有価証券に係る税金・手数料等
合 計	242	2.204	
期中の平均基準価額は、10,995円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

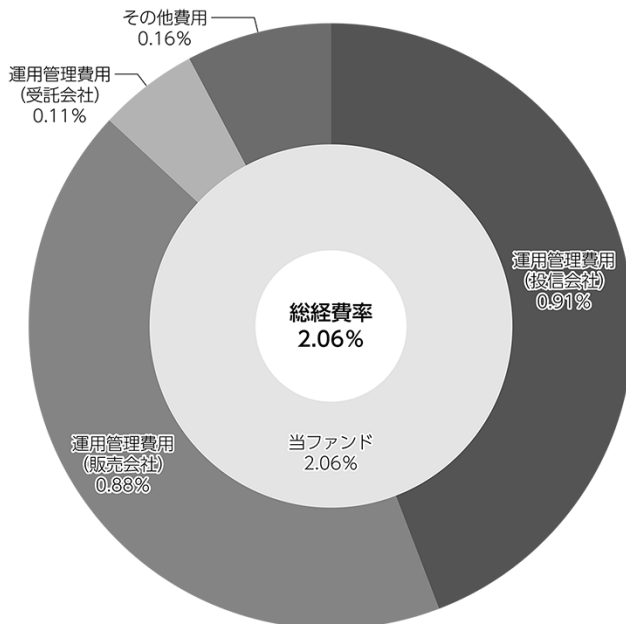
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年12月24日～2022年12月23日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	千口 166, 176	千円 713, 714	千口 59, 850	千円 255, 114

(注) 単位未満は切捨てています。

## ○株式売買比率

(2021年12月24日～2022年12月23日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	206, 346, 685千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	152, 991, 215千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.34	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 外国株式の(a)は各月末(決算日の属する月については決算日)、(b)は各月末のわが国の対顧客電信売買相場仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年12月24日～2022年12月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年12月23日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	千口 126, 251	千口 232, 577	千円 1, 023, 107

(注) 単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2022年12月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	1,023,107	96.9
コール・ローン等、その他	32,286	3.1
投資信託財産総額	1,055,393	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) インベスコ 世界先進国株式 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (260,198,789千円) の投資信託財産総額 (271,873,134千円) に対する比率は95.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年12月23日における邦貨換算レートは、1米ドル=132.77円、1カナダドル=97.25円、1ユーロ=140.64円、1英ポンド=159.71円、1スイスフラン=142.43円、1ノルウェークローネ=13.46円、1デンマーククローネ=18.91円、1香港ドル=17.03円です。



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,020,181,074
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド(評価額)	1,023,107,841
未収入金	997,073,233
(B) 負債	973,418,369
未払金	964,787,152
未払解約金	1,045,920
未払信託報酬	7,170,913
その他未払費用	414,384
(C) 純資産総額(A-B)	1,046,762,705
元本	964,856,645
次期繰越損益金	81,906,060
(D) 受益権総口数	964,856,645口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,849円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

期首元本額	427,121,632円
期中追加設定元本額	625,452,938円
期中一部解約元本額	87,717,925円

## ○損益の状況 (2021年12月24日～2022年12月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 18,831,720
売買益	137,022,260
売買損	△155,853,980
(B) 信託報酬等	△ 13,281,399
(C) 当期損益金(A+B)	△ 32,113,119
(D) 前期繰越損益金	45,747,975
(E) 追加信託差損益金	68,271,204
(配当等相当額)	( 125,631,355)
(売買損益相当額)	(△ 57,360,151)
(F) 計(C+D+E)	81,906,060
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	81,906,060
追加信託差損益金	68,271,204
(配当等相当額)	( 126,454,969)
(売買損益相当額)	(△ 58,183,765)
分配準備積立金	45,747,975
繰越損益金	△ 32,113,119

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 運用の指図に係る権限を委託するための費用として、委託者が受ける報酬の40%の金額を、(B)信託報酬等のうちの委託者報酬の中から支払っています。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。  
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(126,454,969円)および分配準備積立金(45,747,975円)より分配対象収益は172,202,944円(1万口当たり1,784円)となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

## ○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。

**インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)**

**○ 1万口当たりの費用明細**

(2021年12月24日~2022年12月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	244 (117)	1.903 (0.913)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	(113)	(0.880)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 14)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.037	(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 5)	(0.036)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.001)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	13	0.100	(c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 12)	(0.097)	※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.003)	
(d) そ の 他 費 用	14	0.106	(d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 2)	(0.012)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 5)	(0.036)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
( そ の 他 )	( 6)	(0.050)	その他は、外国有価証券に係る税金・手数料等
合 計	276	2.146	
<p style="text-align: center;">期中の平均基準価額は、12,814円です。</p>			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

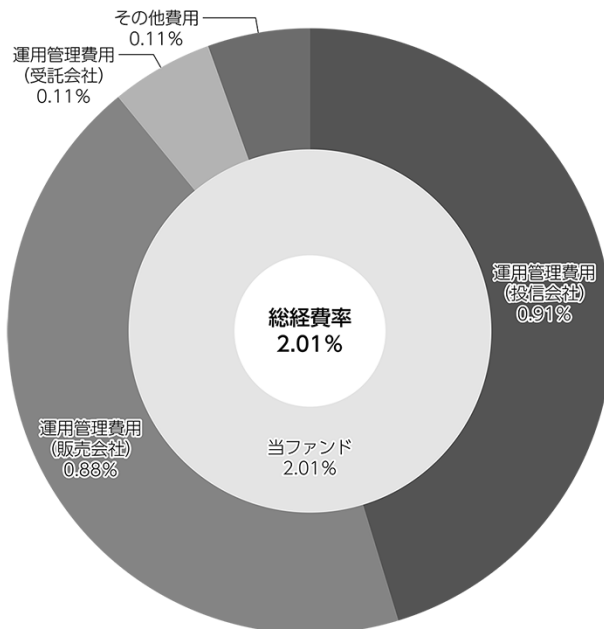
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年12月24日～2022年12月23日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	989,940	4,173,639	306,062	1,309,889

(注) 単位未満は切捨てています。

## ○株式売買比率

(2021年12月24日～2022年12月23日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	206,346,685千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	152,991,215千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.34

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 外国株式の(a)は各月末(決算日の属する月については決算日)、(b)は各月末のわが国の対顧客電信売買相場仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年12月24日～2022年12月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年12月23日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	859,536	1,543,415	6,789,484

(注) 単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2022年12月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	6,789,484	100.0
コール・ローン等、その他	2,030	0.0
投資信託財産総額	6,791,514	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) インベスコ 世界先進国株式 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (260,198,789千円) の投資信託財産総額 (271,873,134千円) に対する比率は95.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売相場仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年12月23日における邦貨換算レートは、1米ドル=132.77円、1カナダドル=97.25円、1ユーロ=140.64円、1英ポンド=159.71円、1スイスフラン=142.43円、1ノルウェークローネ=13.46円、1デンマーククローネ=18.91円、1香港ドル=17.03円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月23日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	6,791,514,550
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド(評価額)	6,789,484,098
未収入金	2,030,452
(B) 負債	61,256,362
未払解約金	2,437,124
未払信託報酬	57,486,105
その他未払費用	1,333,133
(C) 純資産総額(A-B)	6,730,258,188
元本	5,119,856,593
次期繰越損益金	1,610,401,595
(D) 受益権総口数	5,119,856,593口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,145円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

期首元本額	2,800,299,295円
期中追加設定元本額	3,281,016,336円
期中一部解約元本額	961,459,038円

## ○損益の状況 (2021年12月24日～2022年12月23日)

項目	当期
	円
(A) 有価証券売買損益	333,461,409
売買益	387,099,146
売買損	△ 53,637,737
(B) 信託報酬等	△ 102,170,392
(C) 当期損益金(A+B)	231,291,017
(D) 前期繰越損益金	306,687,401
(E) 追加信託差損益金	1,072,423,177
(配当等相当額)	( 1,271,231,324)
(売買損益相当額)	(△ 198,808,147)
(F) 計(C+D+E)	1,610,401,595
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	1,610,401,595
追加信託差損益金	1,072,423,177
(配当等相当額)	( 1,278,384,903)
(売買損益相当額)	(△ 205,961,726)
分配準備積立金	537,978,418

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 運用の指図に係る権限を委託するための費用として、委託者が受ける報酬の40%の金額を、(B) 信託報酬等のうちの委託者報酬の中から支払っています。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。  
 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (68,886,342円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (162,404,675円)、信託約款に規定する収益調整金 (1,278,384,903円) および分配準備積立金 (306,687,401円) より分配対象収益は1,816,363,321円 (1万口当たり3,547円) となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

## ○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。



# インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド

## 運用報告書

### 第48期

決算日 2022年12月23日

(計算期間：2022年6月24日から2022年12月23日まで)

運用方針	<p>①日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式に投資します。</p> <p>②日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、当社独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較でみた割安銘柄に分散投資し、投資信託財産の長期的な成長をめざします。当ファンドのベンチマークは、MSCIワールド・インデックス（円換算指数）とします。</p> <p>③銘柄選択にあたっては、当社独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタル分析と株価の適正水準評価等ボトム・アップ・アプローチにより行います。</p> <p>④株式の組入比率は、原則として高位を維持します。ただし、市況動向等により弾力的に変更を行う場合があります。</p>
主要運用対象	日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式を主要投資対象とします。
組入制限	<p>①株式への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。</p> <p>③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>④同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p>

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCIワールド・インデックス (円換算指数)		株式 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	円	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率			
44期(2020年12月23日)	30,511	12.1%	273,954	15.5%	98.2%	—	百万円 50,071
45期(2021年6月23日)	37,585	23.2%	332,346	21.3%	93.4%	3.8%	85,977
46期(2021年12月23日)	41,390	10.1%	363,665	9.4%	90.7%	7.1%	120,690
47期(2022年6月23日)	41,459	0.2%	345,574	△5.0%	88.9%	8.4%	157,258
48期(2022年12月23日)	43,990	6.1%	344,571	△0.3%	90.6%	6.5%	267,706

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス(円換算指数)を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社で独自に円換算しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。以下同じです。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCIワールド・インデックス (円換算指数)		株式 組入比率	投資信託 組入比率
	円	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2022年6月23日	41,459	—	345,574	—	88.9%	8.4%
6月末	42,636	2.8%	351,876	1.8%	89.7%	8.3%
7月末	44,306	6.9%	364,769	5.6%	90.9%	8.2%
8月末	43,506	4.9%	366,728	6.1%	90.7%	8.1%
9月末	40,463	△2.4%	347,735	0.6%	90.2%	7.8%
10月末	43,791	5.6%	379,700	9.9%	90.8%	6.9%
11月末	45,577	9.9%	369,845	7.0%	91.0%	6.7%
(期末) 2022年12月23日	43,990	6.1%	344,571	△0.3%	90.6%	6.5%

(注) 基準価額は1万円当たりです。

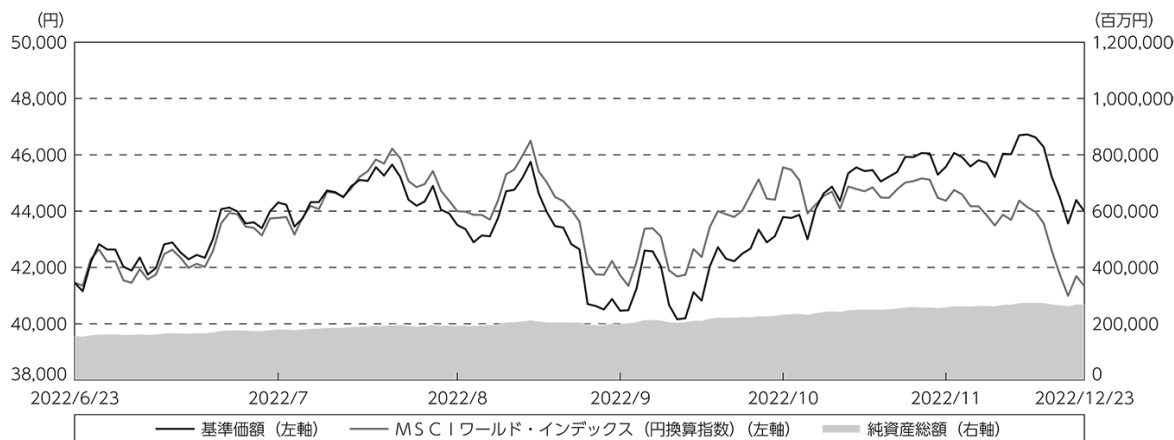
(注) 騰落率は期首比です。



## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2022年6月24日～2022年12月23日)



期首：41,459円  
 期末：43,990円  
 騰落率： 6.1%

(注) MSCIワールド・インデックス (円換算指数) は、期首 (2022年6月23日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) MSCIワールド・インデックス (円換算指数) は、ベンチマークです。

## ○基準価額の主な変動要因

### [上昇要因]

- ・日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式を主要投資対象としているため、ポートフォリオにおいて投資対象市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行った結果、VERALLIA SAS (フランス/素材)、HERC HOLDINGS, INC. (米国/資本財)、3I GROUP PLC (英国/各種金融) などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

### [下落要因]

- ・AMERICAN TOWER CORPORATION (米国/不動産)、LINK REAL ESTATE INVESTMENT TRUST (香港/不動産)、MELROSE INDUSTRIES PLC (英国/資本財) などの株価が保有期間に下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・外貨建資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、米ドルが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境

TOPIX (東証株価指数) (日本)	+2.5%	S & P 500指数 (米国)	+1.3%
FTSE100指数 (英国)	+6.4%	DAX指数 (ドイツ)	+8.0%
CAC40指数 (フランス)	+10.6%		
米ドル/円	132円77銭 (前期末136円20銭)	ユーロ/円	140円64銭 (同143円90銭)

※株価指数の騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当期末の数値です。

### <株式市場>

当期の世界各国 (エマージング国を除く) の株式市場は、上昇する展開となりました。期初は、インフレ抑制のため米連邦準備理事会 (FRB) が大幅な利上げを行ったものの、先行きの景気減速観測から米国長期金利が低下したこと、欧州中央銀行 (ECB) の利上げ幅が予想を上回ったものの、ユーロ圏各国の長期金利が大きく低下したことなどを受け、株式市場は堅調に推移しました。期央は、パウエルFRB議長が金融引き締めにも積極的な姿勢を示したこと、ECBによる大幅な利上げや景気悪化の観測が高まったことから、世界の株式市場は下落に転じました。期末にかけては、FRBが年内に利上げペースを鈍化させるとの見方が強まったこと、米国長期金利が大幅に低下したことを好感して、米国株式市場は大きく上昇し、欧州の株式市場も連れ高となりました。その後、各国の利上げ継続や金融引き締めにも積極的な姿勢を受け、再び景気後退懸念が高まり、世界の株式市場は期中のピークからは反落して期末を迎えました。

### <為替市場>

当期の米ドル/円レートは、下落しました。期初から期中にかけてはFRBによる大幅な利上げが継続し、米国国債金利が上昇したこと、日銀の金融緩和政策継続により、日米金利差が拡大したことなどを受け、大幅な円安/米ドル高が進行しました。期末にかけては、積極的な利上げによる米国の景気後退懸念が高まったこと、買われすぎたドルの上昇が一服したこと、その後日銀が金融緩和策を修正し、長期金利の上限を引き上げたことなどを背景に円を買う動きが強まり、円高/米ドル安となりました。

当期のユーロ/円レートは、下落しました。期初に、ECBが政策金利の利上げを開始し、金融引き締め政策への転換が明らかになったこと、その後も同行が大幅な利上げを継続したことにより、ユーロ高が進行しました。しかしながら、期末に日銀が金融緩和策を修正し、長期金利の上限を引き上げたことを受け、ユーロが急落し、期を通してみると円高/ユーロ安となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

主として、日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行いました。また、外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。セクター別では、主に「金融」「資本財・サービス」をオーバーウェイトとしました。一方、「ヘルスケア」「情報技術」をアンダーウェイトとし、「公益事業」は非保有としました。当期中、強固な財務基盤や高い競争優位性を持つ企業の株式を中心に、新規に組み入れを行いました。ここ最近株価がかなり低迷し、バリュエーションの魅力が高まったINTERCONTINENTAL EXCHANGE（米国／各種金融）、欧州の半導体実装装置メーカーであるBE SEMICONDUCTOR INDUSTRIES（オランダ／半導体・半導体製造装置）、米国の空調・工業用品販売会社であるFERGUSON（米国／資本財）などを新規で購入しました。一方、より魅力的な投資機会への投資を行うためAMAZON.COM（米国／小売）、TJX COMPANIES（米国／小売）、BERKELEY GROUP HOLDINGS（英国／耐久消費財・アパレル）などを全売却しました。

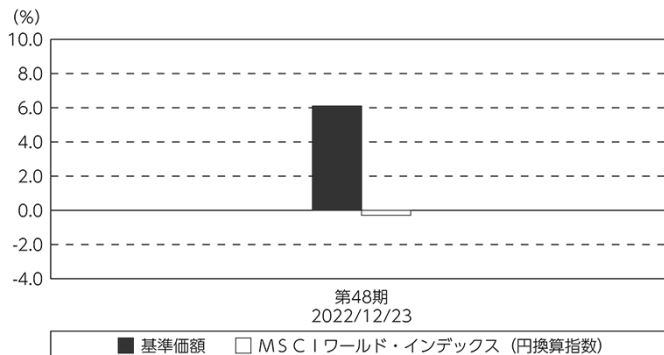
## 当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は+6.1%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス（円換算指数）の騰落率△0.3%を上回る結果となりました。

当期は、セクター別では、セクター別配分効果と銘柄選択効果が共にプラスに影響しました。セクター別配分効果については、「金融」の組入比率をベンチマークより高めとしたことや、「コミュニケーション・サービス」の組入比率をベンチマークより低めとしたことがプラス要因となった一方、「ヘルスケア」の組入比率をベンチマークより低めとしたことや、「不動産」の組入比率をベンチマークより高めとしたことがマイナス要因となりました。銘柄選択効果については、「一般消費財・サービス」や「情報技術」の銘柄選択がプラス要因となった一方、「不動産」や「エネルギー」の銘柄選択がマイナス要因となりました。

国別では、国別配分効果と銘柄選択効果が共にプラスに影響しました。国別配分効果については、「オランダ」や「英国」の組入比率をベンチマークより高めとしたことがプラス要因となった一方、「日本」の組入比率をベンチマークより低めとしたことや、「オーストラリア」を非保有としていたことなどがマイナス要因となりました。銘柄選択効果については、「米国」や「オランダ」の銘柄選択がプラス要因となった一方、「ドイツ」や「日本」の銘柄選択がマイナス要因となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) MSCIワールド・インデックス（円換算指数）は、ベンチマークです。

## ○今後の運用方針

---

主として日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチにより、グローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行います。外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。エマージング諸国を除く、世界に点在する企業の中から、国籍にかかわらず、ビジネス・モデルと経営陣の資質が優れていると判断した企業を発掘します。特に着目している企業の特徴は、フリー・キャッシュフロー創出力と株主還元を踏まえた、配当成長力です。また、銘柄数を厳選し、長期的視点から投資を行う方針です。今後も、株価バリュエーション判断を重視し、相対的に割安度が高いと判断した銘柄への組み替えを行っていきます。

## ○当ファンドのデータ

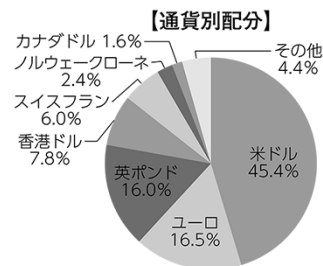
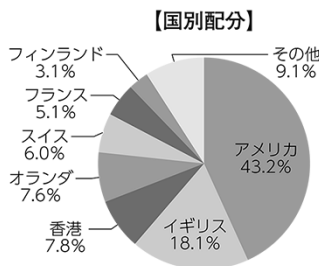
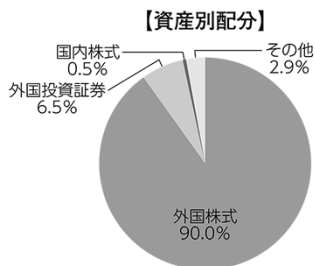
(2022年12月23日現在)

## 【組入上位10銘柄】

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	3I GROUP	各種金融	英ポンド	イギリス	6.1
2	AIA GROUP	保険	香港ドル	香港	5.3
3	VERALL IA	素材	ユーロ	フランス	5.1
4	AMERICAN TOWER	投資証券	米ドル	アメリカ	4.0
5	MICROSOFT	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.0
6	COCA-COLA	食品・飲料・タバコ	米ドル	アメリカ	3.7
7	BROADCOM	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	3.7
8	STANDARD CHARTERED	銀行	英ポンド	イギリス	3.2
9	UNIVERSAL MUSIC GROUP BV	メディア・娯楽	ユーロ	オランダ	3.1
10	KONE-B	資本財	ユーロ	フィンランド	3.1
組入銘柄数				44銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国（地域）につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 6 月 24 日～2022年12月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	9 ( 9 ) ( 0 )	0.021 (0.021) (0.001)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	25 (24) ( 1 )	0.057 (0.055) (0.002)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	19 ( 2 ) (17)	0.044 (0.004) (0.040)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、外国有価証券に係る税金・手数料等
合 計	53	0.122	
期中の平均基準価額は、43,379円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年6月24日～2022年12月23日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		50	541,144	—	—
外 国	アメリカ	百株 33,028 ( 1,971)	千米ドル 397,446 ( —)	百株 10,636	千米ドル 108,943
	カナダ	1,422	千カナダドル 14,254	—	千カナダドル —
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	396	5,490	—	—
	フランス	11,082	26,676	1,526	3,788
	オランダ	22,277	78,351	2,029 ( —)	12,717 ( 73)
	フィンランド	7,659	32,237	1,587	7,737
	イギリス	230,119	千英ポンド 112,489	68,109	千英ポンド 15,741
	スイス	2,897	千スイスフラン 39,758	—	千スイスフラン —
	スウェーデン	—	千スウェーデンクローナ —	7,711 ( —)	千スウェーデンクローナ 5,915 (308,091)
	ノルウェー	8,478 ( 7,333)	千ノルウェークローネ 276,237 (242,306)	— ( 0.04)	千ノルウェークローネ — ( —)
	デンマーク	2,834	千デンマーククローネ 138,443	—	千デンマーククローネ —
	香港	39,084	千香港ドル 290,347	—	千香港ドル —

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。ただし、単位未満の場合は、小数で記載しています。

(注) ( ) 内は株式分割、株式転換、増資割当、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注) 地域は発行通貨によって区分しています。ただし、ユーロ建ての外国株式は発行体の国籍(所在国)などによって区分しています。以下、同じです。

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	AMERICAN TOWER	140	32,350	—	—
	小 計	140	32,350	—	—
国	香港		千香港ドル		千香港ドル
	LINK REIT	2,752	161,877	—	—
	小 計	2,752	161,877	—	—

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。

## ○株式売買比率

(2022年6月24日～2022年12月23日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	135,487,063千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	184,915,971千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.73

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 外国株式の(a)は各月末(決算日の属する月については決算日)、(b)は各月末のわが国の対顧客電信売買相場仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年6月24日～2022年12月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年12月23日現在)

### 国内株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
電気機器 (100.0%) ソニーグループ	千株 93.9	千株 144.2	千円 1,470,840
合 計	株 数 ・ 金 額 93	株 数 144	1,470,840
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 0.5% >

(注) 銘柄欄の( )内は、当期末における国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注) 評価額欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 株数は千株単位で記載しています。ただし、単位未満の場合は、小数で記載しています。



## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
AMERICAN EXPRESS	395	607	8,828	1,172,192	各種金融	
JPMORGAN CHASE & CO	1,903	3,159	41,282	5,481,084	銀行	
COCA-COLA	7,912	11,916	75,476	10,020,999	食品・飲料・タバコ	
DANAHER	511	980	25,353	3,366,223	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
HOME DEPOT	707	1,100	34,782	4,618,012	小売	
PEPSICO	1,632	1,377	24,947	3,312,327	食品・飲料・タバコ	
PROGRESSIVE	2,646	3,652	46,976	6,237,110	保険	
UNION PACIFIC	1,401	2,022	42,208	5,604,005	運輸	
TJX COMPANIES	3,395	—	—	—	小売	
CELANESE	—	1,981	20,041	2,660,915	素材	
ACCENTURE	710	420	11,131	1,477,973	ソフトウェア・サービス	
INTERCONTINENTAL EXCHANGE	—	4,142	42,444	5,635,337	各種金融	
KKR	6,025	10,221	47,640	6,325,204	各種金融	
INSTALLED BUILDING	2,172	2,673	23,312	3,095,171	耐久消費財・アパレル	
FERGUSON	—	3,461	43,210	5,737,102	資本財	
HERC HOLDINGS	3,308	4,759	60,443	8,025,149	資本財	
AMAZON.COM	2,072	—	—	—	小売	
ANALOG DEVICES	1,271	1,953	31,992	4,247,599	半導体・半導体製造装置	
NVIDIA	1,422	2,992	45,905	6,094,850	半導体・半導体製造装置	
MICROSOFT	2,049	3,351	79,840	10,600,401	ソフトウェア・サービス	
TEXAS INSTRUMENTS	1,316	2,356	38,818	5,153,884	半導体・半導体製造装置	
BROADCOM	812	1,342	74,238	9,856,646	半導体・半導体製造装置	
ALPHABET INC-CL C	101	1,659	14,649	1,944,988	メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額	41,770	66,133	833,525	110,667,183	
	銘柄 数 < 比 率 >	20	21	—	< 41.3% >	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN PACIFIC RAILWAY	2,796	4,218	43,128	4,194,235	運輸	
小 計	株 数 ・ 金 額	2,796	4,218	43,128	4,194,235	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.6% >	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
VOLKSWAGEN-PFD	738	1,135	13,044	1,834,644	自動車・自動車部品	
小 計	株 数 ・ 金 額	738	1,135	13,044	1,834,644	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 0.7% >	
(ユーロ…フランス)						
VERALLIA	21,833	31,389	97,873	13,764,971	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	21,833	31,389	97,873	13,764,971	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 5.1% >	
(ユーロ…オランダ)						
BE SEMICONDUCTOR INDUSTRIES	—	7,032	39,930	5,615,758	半導体・半導体製造装置	
PROSUS NV	4,923	7,008	44,645	6,278,895	小売	
UNIVERSAL MUSIC GROUP BV	15,562	26,692	59,496	8,367,652	メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額	20,485	40,733	144,072	20,262,306	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	3	—	< 7.6% >	

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
(ユーロ圏…フィンランド) KONE-B	百株 6,099	百株 12,172	千ユーロ 58,208	千円 8,186,478	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,099 1	12,172 1	58,208 —	8,186,478 <3.1%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	49,158 5	85,431 6	313,199 —	44,048,401 <16.5%>	
(イギリス) ASHTED GROUP STANDARD CHARTERED 3I GROUP RELX ROLLS-ROYCE HOLDINGS BERKELEY GROUP HOLDINGS MELROSE INDUSTRIES NEXT	854 50,198 49,109 8,272 141,022 2,457 162,120 —	1,313 85,382 76,956 12,457 154,112 — 240,012 5,811	千英ポンド 6,208 53,364 101,659 28,751 14,039 — 31,249 32,530	991,492 8,522,820 16,236,107 4,591,849 2,242,275 — 4,990,877 5,195,479	資本財 銀行 各種金融 商業・専門サービス 資本財 耐久消費財・アパレル 資本財 小売	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	414,036 7	576,047 7	267,803 —	42,770,903 <16.0%>	
(スイス) ZURICH INSURANCE GROUP NOVARTIS NESTLE	822 3,050 855	1,264 5,110 1,251	千スイスフラン 56,269 43,207 13,509	8,014,470 6,154,015 1,924,202	保険 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,728 3	7,626 3	112,986 —	16,092,688 <6.0%>	
(スウェーデン) ORRON ENERGY	7,711	—	千スウェーデンクローナ —	—	—	エネルギー
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,711 1	— —	— —	— <—%>	
(ノルウェー) AKER BP ASA	—	15,812	千ノルウェークローネ 483,854	6,512,686	エネルギー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	15,812 1	483,854 —	6,512,686 <2.4%>	
(デンマーク) ROYAL UNIBREW	—	2,834	千デンマーククローネ 140,883	2,664,099	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	2,834 1	140,883 —	2,664,099 <1.0%>	
(香港) AIA GROUP	59,556	98,640	千香港ドル 827,589	14,093,850	保険	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	59,556 1	98,640 1	827,589 —	14,093,850 <5.3%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	579,758 38	856,743 41	— —	241,044,048 <90.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数および評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 業種はG I C S (世界産業分類基準) に準じています。

(注) 期中に銘柄コード等の変更があった場合は、当該銘柄は期首とは別銘柄として記載しています。

(注) 一印は組み入れはありません。

## 外国投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末			
		口数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) AMERICAN TOWER	千口 245	千口 385	千米ドル 81,175	千円 10,777,706	% 4.0
小 計	口数・金額 245	口数 385	81,175	10,777,706	
	銘柄数<比率>	1	—	<4.0%>	
(香港) LINK REIT	4,287	7,040	千香港ドル 396,704	6,755,869	2.5
小 計	口数・金額 4,287	7,040	396,704	6,755,869	
	銘柄数<比率>	1	—	<2.5%>	
合 計	口数・金額 4,532	7,425	—	17,533,576	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<6.5%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数および評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 一印は組み入れはありません。

## ○投資信託財産の構成

(2022年12月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	242,514,888	89.2
投資証券	17,533,576	6.4
コール・ローン等、その他	11,824,670	4.4
投資信託財産総額	271,873,134	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産 (260,198,789千円) の投資信託財産総額 (271,873,134千円) に対する比率は95.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年12月23日における邦貨換算レートは、1米ドル=132.77円、1カナダドル=97.25円、1ユーロ=140.64円、1英ポンド=159.71円、1スイスフラン=142.43円、1ノルウェークローネ=13.46円、1デンマーククローネ=18.91円、1香港ドル=17.03円です。

**○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月23日現在)**

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	273,138,925,212	
コール・ローン等	10,579,508,297	
株式(評価額)	242,514,888,550	
投資証券(評価額)	17,533,576,102	
未収入金	1,566,743,811	
未収配当金	944,208,452	
(B) 負債	5,432,543,593	
未払金	5,310,504,595	
未払解約金	122,022,070	
未払利息	16,928	
(C) 純資産総額(A-B)	267,706,381,619	
元本	60,856,397,702	
次期繰越損益金	206,849,983,917	
(D) 受益権総口数	60,856,397,702口	
1万口当たり基準価額(C/D)	43,990円	

&lt;注記事項&gt;

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	37,930,671,096円
期中追加設定元本額	30,252,005,202円
期中一部解約元本額	7,326,278,596円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	58,142,664,786円
インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	1,543,415,344円
インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	816,380,528円
インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	232,577,368円
インベスコ 世界先進国株式オープン (適格機関投資家専用)	99,042,190円
インベスコ グローバル・バリュエーション・エクイティ・オープン VA (適格機関投資家専用)	22,317,486円
合計	60,856,397,702円

**○損益の状況 (2022年6月24日~2022年12月23日)**

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	1,909,157,097	
受取配当金	1,904,827,952	
受取利息	5,314,309	
その他収益金	192,679	
支払利息	△ 1,177,843	
(B) 有価証券売買損益	8,205,639,978	
売買益	23,837,854,914	
売買損	△ 15,632,214,936	
(C) 保管費用等	△ 89,191,045	
(D) 当期損益金(A+B+C)	10,025,606,030	
(E) 前期繰越損益金	119,327,467,230	
(F) 追加信託差損益金	101,974,993,134	
(G) 解約差損益金	△ 24,478,082,477	
(H) 計(D+E+F+G)	206,849,983,917	
次期繰越損益金(H)	206,849,983,917	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。